

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		スポーツ推進委員事業				②事業番号		7620	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 36 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 規則		要綱		計画等	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		6	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		目	
								1	
								細目	
								3	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市から委嘱されたスポーツ推進委員(20名)によって、親子スポーツ教室(親子でかけっこ、鉄棒、マット、グラウンドゴルフ、ボール運動など様々なスポーツを体験する教室)わくわくSports教室(誰でも気軽に楽しくスポーツを目的)などの事業を実施する。		① 親子スポーツ教室開催回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
参加者(特に子ども)にスポーツを身近に感じてもらい、スポーツを楽しんでもらう。		① 親子スポーツ教室参加者数(延べ人数)		人	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
参加者(特に子ども)がスポーツレクリエーション活動に親しめるようになる。		政策(章)		1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち	
		施策大(節)		4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします	
		施策中		2 生涯学習内容の充実	
		施策小		4 スポーツの推進	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4見込	
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	親子スポーツ教室開催回数	回	14	14	5	14	14	
活動指標②								令和2年度の活動指標 の減は、新型コロナウイルス 感染症の影響で緊急事 態宣言が発出されたこと を受け、前期親子スポー ツ教室の全てと後期親子 スポーツ教室のうち2回が中 止となったため。
活動指標③								
成果指標①	親子スポーツ教室参加者数(延べ人数)	人	630	463	150	450	500	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.14	0.14	0.06	0.03		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.02		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,135	1,080	458	289		—
	人件費(投入人員*単価)	千円	494	522	427	546		
財源内訳	直接事業費	千円	1,629	1,602	885	835		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,629	1,602	885	835		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、市民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じて行うことができるようにすることを旨とし、開始した。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	親子体力づくり教室は少子化の影響からか減少気味である。今後もこの傾向が続くようである。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	コロナ禍においても市民が安全にスポーツに取り組むことができるよう、マスク、手指消毒用アルコールなどの消耗品を購入した。

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)				[1]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	子どもが気軽に参加しやすく、スポーツをするきっかけになりやすいものである。		

[2]有効性				[2]の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
②期待どおりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	開催する事業は参加者(特に子ども)も多く、スポーツをするきっかけとなり、スポーツ人口向上に貢献している。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)		ア. ある イ. ない	内容を十分検討することで成果向上の余地がある。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	規則で委嘱されたスポーツ推進委員であるため統廃合することはできない。		

[3]効率性				[3]の評価	B
評価項目		評価及び理由・説明等			
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではできませんか。)		ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。		

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	事業を行っていくことで、子どもが気軽にスポーツをするきっかけになるなど市民の健康増進に寄与する。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>	
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
<今後の展開方針>	
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	